
最先端FinTechとIoTによる 真に必要とされる社会創造に向けて

Global Mobility Service株式会社
代表取締役 社長執行役員/CEO
中島 徳至



2018.12.19

GMSの起源

EVコンソーシアム(日本)のリーダーとして、フィリピンに進出

Philippines

ADB案件

Japan E-Trikes Consortium

日本の企業と技術を統合しフィリピンへ

NISSAN



YAMAHA

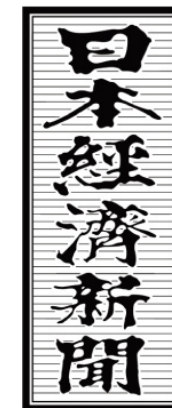
 **Hitachi Solutions, Ltd.**  **SoftBank**

 **TOYOTA**

TOSHIBA
Leading Innovation >>> 等



フィリピンの電動三輪車普及に
300億円拠出（10万台）
アジア開発銀行



（日本経済新聞2012年2月22日付）

長年培ったEV技術を基に、新興国の社会課題解決へ向け活動

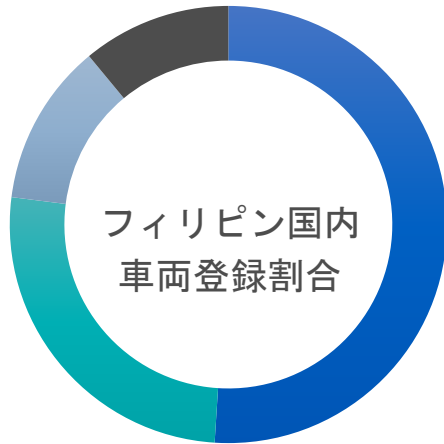


街中には、経年劣化した車両が溢れ
今や排気ガスと騒音が大きな社会問題に



しかし多くの人々は、新車を買いたくとも
ローンを利用できない

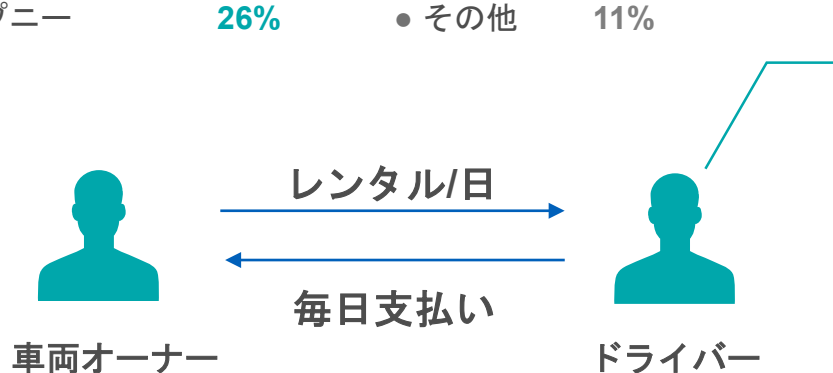
商用ドライバーの現状



ラストマイルの交通手段として
フィリピン全土に
350万台普及している



- トライシクル 51%
- ジプニー 26%
- 乗用車 12%
- その他 11%



車両所有	できない
ローン審査	通らない
支払い年数	終わりが無い

“終わりのない支払い”

77% 90%

銀行口座非保有率

トライシクル
ドライバーの貧困率

貧困層が、貧困を抜け出せない構造的な社会課題が存在

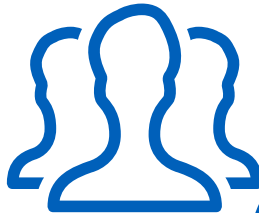
Notes:

1. Bangko Sentral ng Pilipinas (2017) "FINANCIAL INCLUSION SURVEY". % of adults without an account
2. Survey of Philippine Statistics Authority (2015). Approximately 267K PHP. FX Rate: 1PHP=0.0186USD (As of 2018/10/24). Average Family Income.
3. Clean Air Initiative For Asian Cities, Inc. (2011)" COST BENEFIT ANALYSIS OF TECHNOLOGY AND REPLACEMENT OPTIONS FOR 2-STROKE THREE WHEELERS IN THE PHILIPPINES".

世界に目を向けると

「車を必要とする仕事に就業するために」
「排気ガスの少ない車を購入するために」
新車を購入できる環境が求められている

ローンを活用できない人口は全世界で

 **20** 億人

雇用創出・所得向上・大気環境改善
を実現するための環境が不可欠



世界に目を向けると



平均年齢



日本

46歳



インドネシア

29歳



カンボジア

24歳



フィリピン

23歳



GDP成長率



日本

1.7%



インドネシア

5.1%



カンボジア

6.8%



フィリピン

6.7%

世界に目を向けると

車のローン審査 非通過率（潜在含む）



日本



インドネシア



フィリピン



カンボジア

平均年齢が若く、経済成長率も高い中、
なかなかローン審査に通過できない

世界的に目を向けると

排気ガス汚染により、
「肺疾患を患い健康を害する・死亡する」人々が多数

世界の二大慢性肺疾患
患者数

 **5** 億人

年間死亡者数

 **360** 万人

(出典 : The Lancet Respiratory Medicine)

最先端のIoT・FinTechの活用により、貧困問題を解決し
真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する



モビリティサービスの提供を通じ、多くの人を幸せにする

誰もがモビリティを利用できる社会

騒音・排気ガスのない世界

社会がモビリティを利活用できる仕組み

活力ある働きがいのある社会を創造

GMS会社概要

概要

商号 Global Mobility Service 株式会社
本社 東京都港区芝大門
設立 2013年11月25日
資本金 17億3,900万円（資本準備金含む）
現地法人 フィリピン、カンボジア、インドネシア、韓国

設立株主

小宮山 宏 元東京大学総長 三菱総合研究所理事長
福武 総一郎 株式会社ベネッセHD 最高顧問
松島 克守 元PWC常務取締役 東京大学名誉教授
栗原 省三 元日産自動車VP 兼 グローバルCIO
中島 徳至 代表取締役

東証一部上場事業会社10社以上が資本参加



最先端IoT・FinTechによる、問題の解決

独自の遠隔起動制御を実現するIoTデバイスの車載を条件に、ローン提供を可能に

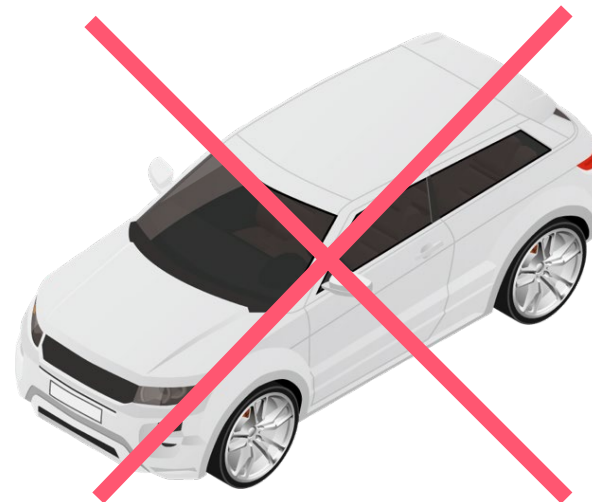


MCCS

Mobility-Cloud Connecting System

特許取得済

デバイス搭載車両



ローン・リース契約車両の
車のエンジンを遠隔で起動制御

GMSが「現在」提供する価値

貸したくとも
貸すことが出来なかった



金融機関

デフォルトリスクを
最小限に抑える

賃高が増える

売りたいくとも
売れなかった



車両販売店

売れなかった車が
売れるようになる

販売台数が増える

買いたくとも
買えなかった



ローン・リース契約者

買えなかった車が
買えるようになる

生活が豊かになる

“徹底した現場視点”による、“三方良し”の新たな市場を創造

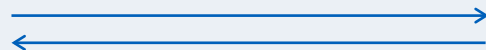
GMSのサービスモデル



フィリピン



FinTechサービス提供

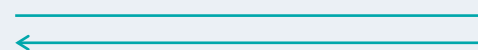


レベニューシェア



ファイナンス企業

ローン・リース



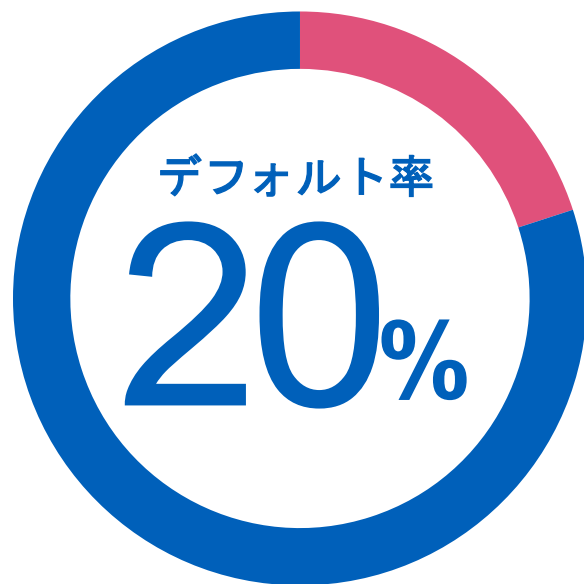
支払い



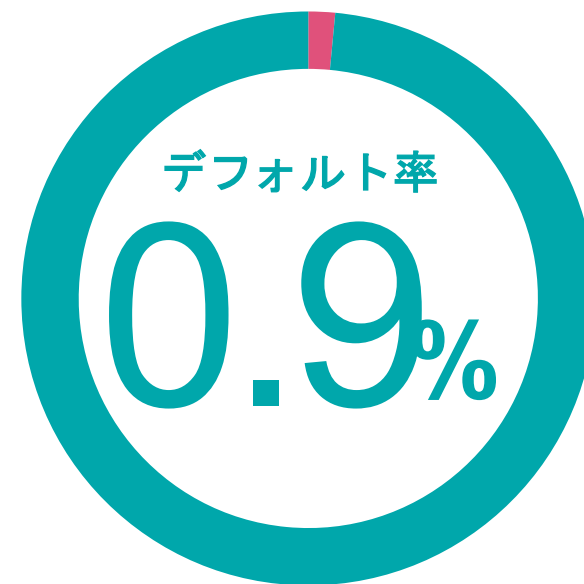
契約者

金融の常識を変えたデフォルト率

これまでの現地金融機関の
デフォルト実績



GMSのサービスを利用した
ローンのデフォルト実績



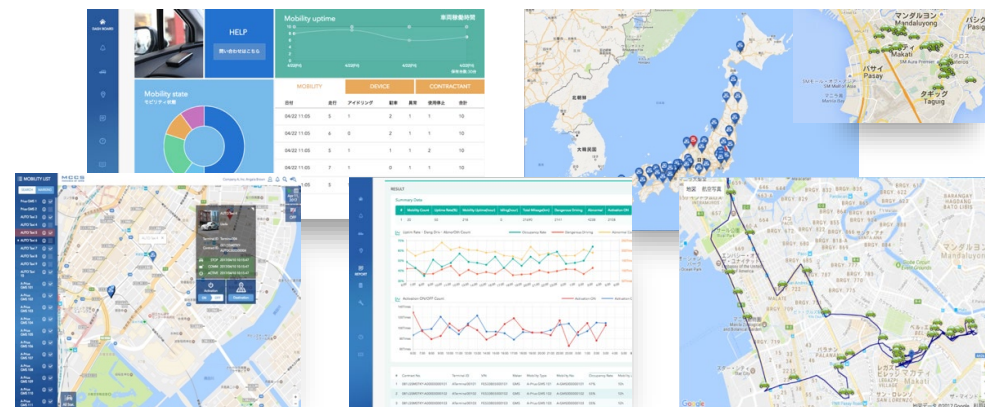
驚異的な低デフォルト率を実現

GMSが「今後」提供する価値

IoTデバイス“MCCS”を搭載した、利用者のローン・リース車両の運行情報等、各種データをプラットフォームに蓄積



勤務時間・見込み収入等
与信に関わる情報を
データ分析により可視化



利用者が
享受する
価値



GMSが価値化する**情報**

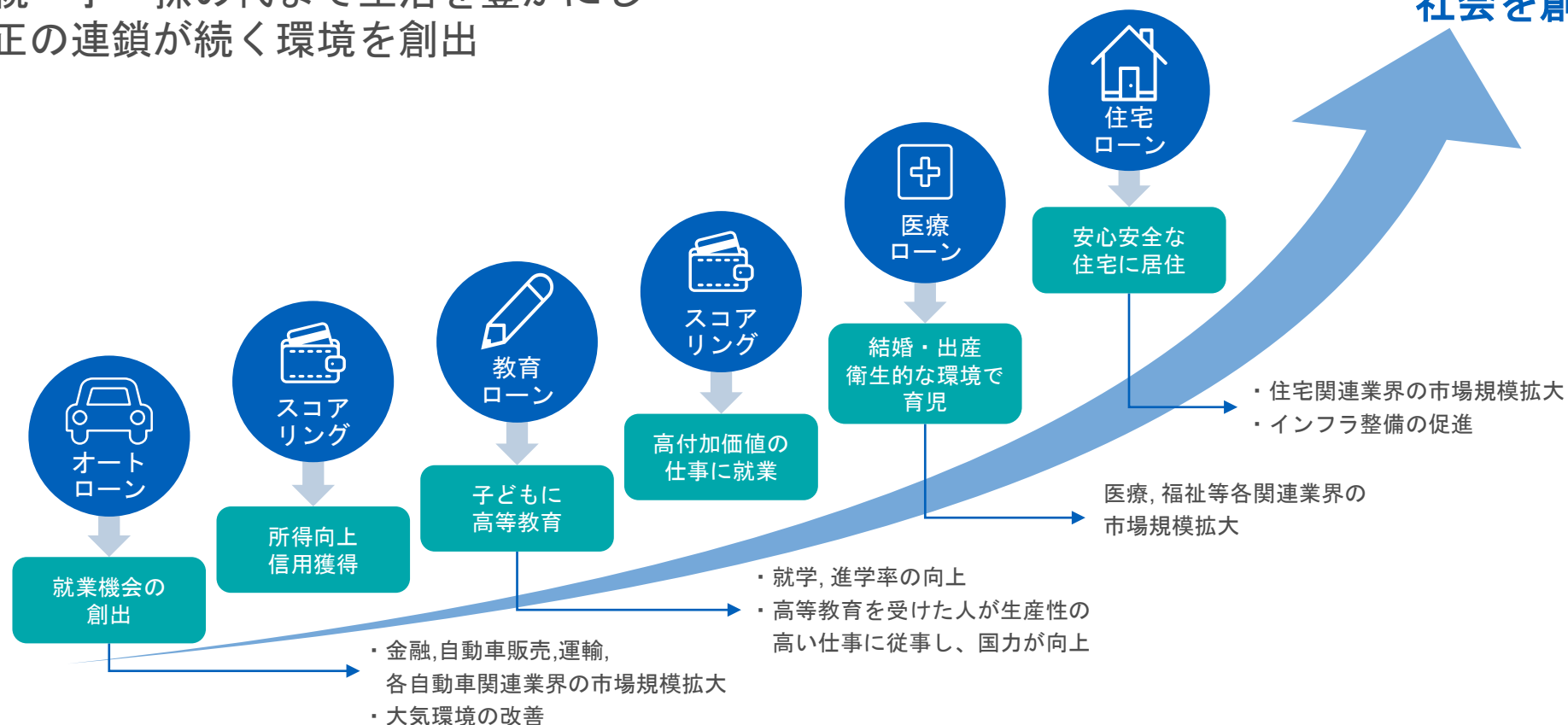
AI連携
GMSプラットフォームにより

情報を価値化

GMSが創造する豊かな社会

GMSのサービスにより
親・子・孫の代まで生活を豊かにし
正の連鎖が続く環境を創出

頑張る意思のある人が
生活を豊かにできる
社会を創造



共通して各国の持続的な経済成長に貢献

フィリピンでの事例



3年のローンを完済し、人生で初めて自分の車を手に入れたドライバーと家族たち

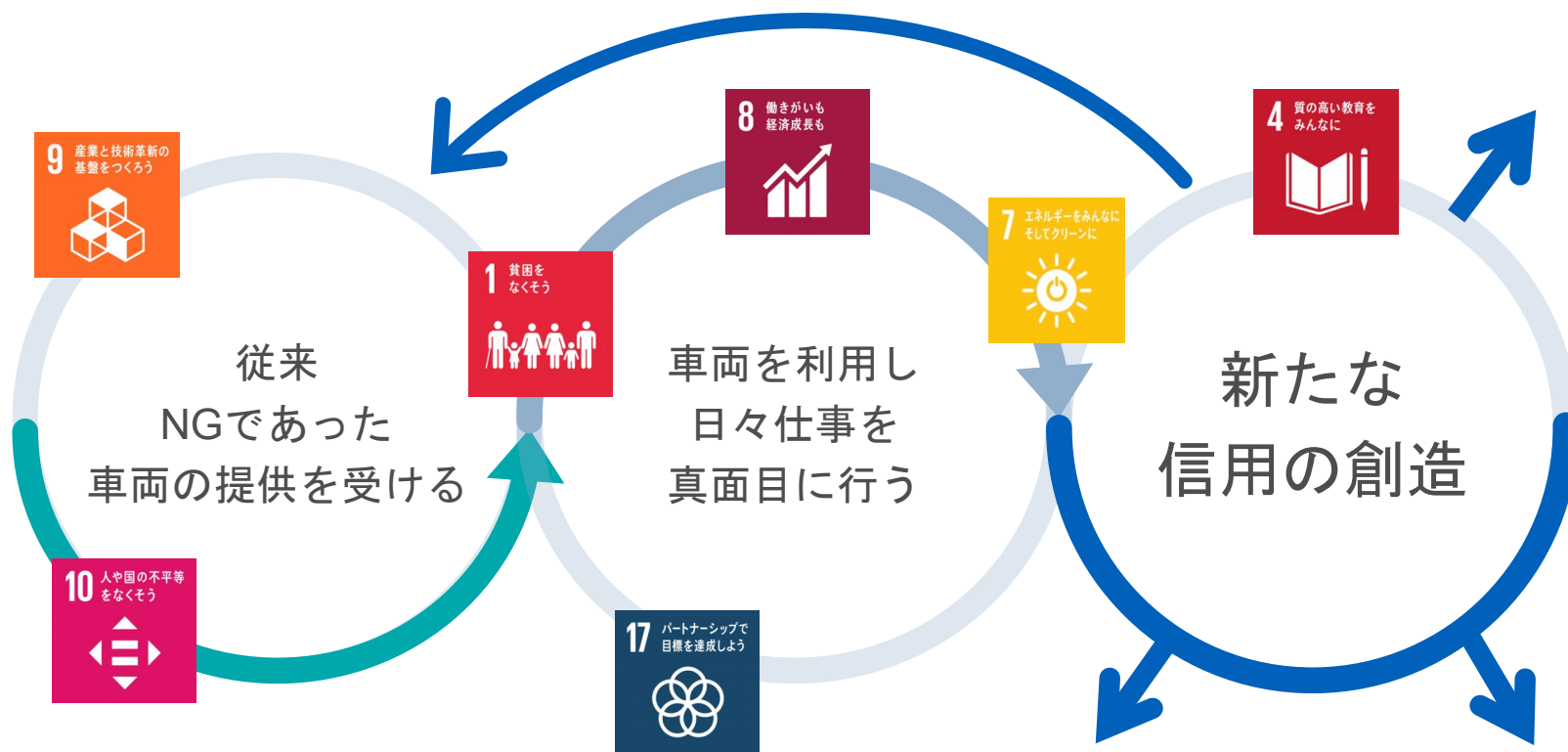
フィリピンでの事例



最初のローンを完済したドライバーに、教育ローンや自動車ローンを提供

GMSのビジネスサイクルにおけるSDGs

イノベーティブな取り組みにより、ビジネスサイクルそのものの中に、SDGsの17項目中7項目に関する取り組みが包含されている



GMSが取り組むSDGs

活躍する機会平等を実現し、自らの頑張りにより貧困から脱出できる



貧困家庭の子どもの
進学を可能に



真面目に働く人々の
所得を向上



貧困層の
就業機会を創出



排気ガスの多い旧型車両のリプレイスによる環境負荷インパクト

210万台の
車両入れ替えによる
削減効果

56万t/年
の温室効果ガス削減

一台当たりのCO2排出削減量：265 [kg/年・台]

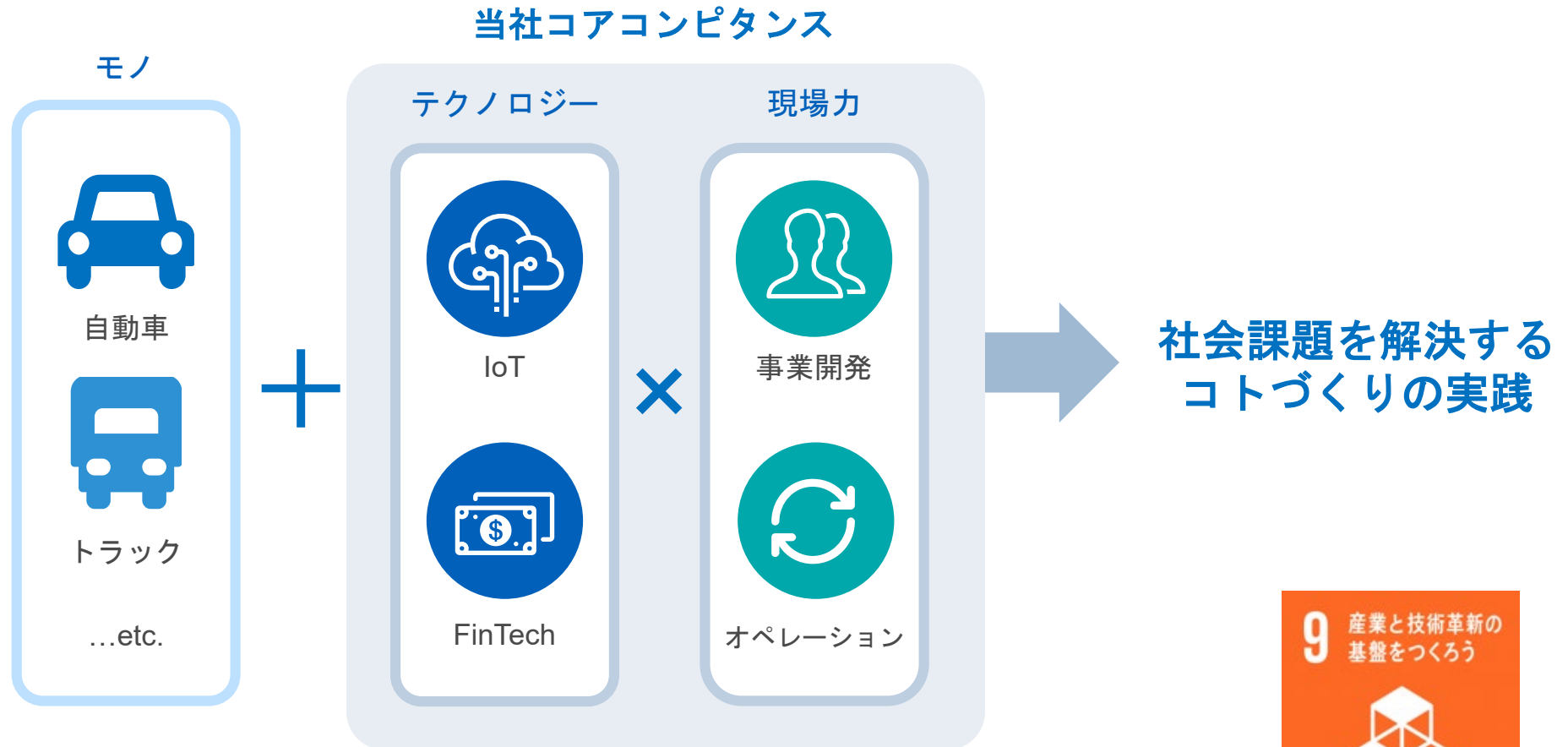
(出所：European Commission JRC/PBL, EDGAR, Clean Air Asia 2012、
財団法人 日本自動車研究所 道路交通センターにおけるCO2排出量削減のための調査 よりGMS算出)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



GMSが取り組むSDGs

イノベーティブな IoT x FinTech の技術力を生かし、21世紀型の画期的なビジネスモデルを創造



従来産業とテクノロジーの融合によるイノベーション



GMSが取り組むSDGs

異業種・官民パートナーシップによる社会創造

フィリピンのスキーム

政府・自治体



フィリピンを代表する各都市

車両販売店



決済インフラ



大企業連携



通信・電力・決済

ローン・
リース契約者

GMS事業展開国



日本



カンボジア



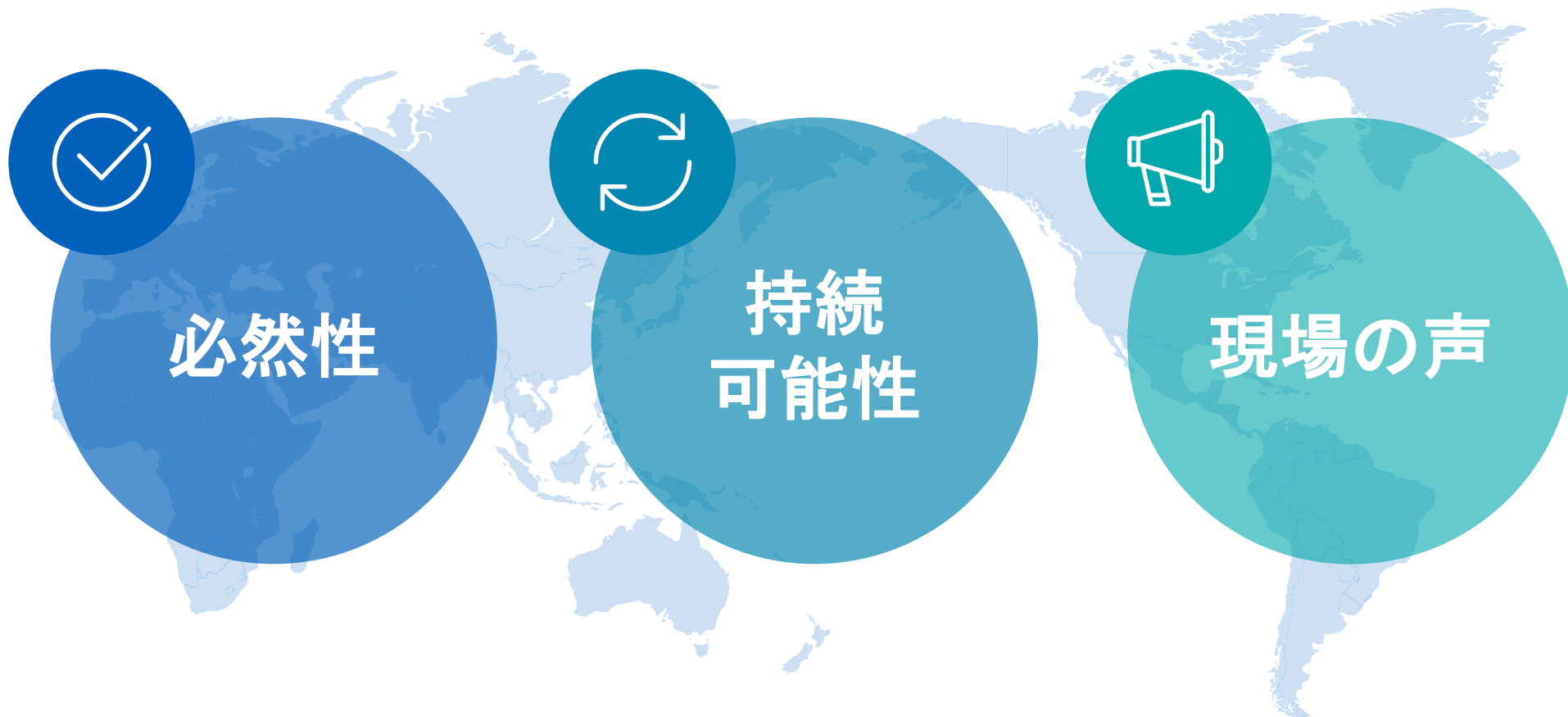
インドネシア

その他各国においても同様のパートナーシップで事業構築

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGs ビジネスに必要な要素



これらの要素がないと、あるべき社会の創造は実現しない

A satellite view of Earth from space, showing a vast expanse of blue oceans and white clouds. The horizon is visible in the upper left corner, with a soft glow from the sun.

世界の20億人を救う

GMS SERVICE VOLUME

これまでGMSのサービスを利用した車両の総走行距離

32,305,306km

地球 約 806 周分

モビリティサービスの提供を通じ 多くの人を幸せにする

-国際社会への貢献-

-ステークホルダーからの信頼-

-未来への挑戦-

